

1 帰国・外国人児童生徒と共に進める教育の国際化推進地域の概要  
平成14年9月1日現在の推進地域内の以下の児童生徒数

	公立小学校 人数	公立中学校 人数	計 人数
ア 海外帰国児童生徒（海外に1年以上在留）数	2	1	3
イ 中国等帰国児童生徒数	0	0	0
ウ 日本語指導が必要な外国人児童生徒在籍数	30	16	46

推進地域の特色

茨城県の西部に位置し、面積65.21㎢、人口約5万3千人。

古代から木綿（コウゾ）の木の茂る土地として知られ、地場産業として「結城紬」〔国指定重要無形文化財（昭和31）〕は全国的にも知られ、古い城下町の町並みとともに貴重な文化として受け継がれている。

市全体として、閑静な住宅街・商店街と農村部に分かれ、市周辺地域の工業地域のベッドタウンともなっている。そのためか近隣の市町村の工場等に就労する外国人労働者が増加している。とりわけ中南米からの日系人労働者が多い。

また、滞在期間も4、5年を数える例がほとんどで、中には10年を越えて在日したり、永住を希望して帰化申請を出している家族も見られる。さらに、国際情勢の変化によって、戦乱を避けるため難民として故国を追われて来日しているセルビア、アフガニスタン出身の外国人児童生徒も在籍している。

帰国・外国人児童生徒の実態

本市における、外国人児童生徒の実態としては、個性豊かで明るく活動的であり、家族や交友関係を大切にしている。さらに、自分の将来についても真剣に考えるなど自立心に富んでいる。反面、生活習慣の違う社会の中で、日本語が分からないために先生や友達とのコミュニケーションがとれず情緒不安定になったり、日常会話等では不自由しない子でも教科学習や学校行事等に意欲がなく、登校をしづる傾向がある。また中学2年生くらいになると言葉のハンデや経済的な理由などで退学してしまうケースもみられる。

2 帰国・外国人児童生徒と共に進める教育の国際化進地域センター校の概要

センター校の概要

学校名：結城市立結城小学校

校長名：木村 裕

学級数：22学級 児童数：712人

所在地：茨城県結城市大字結城1927番地

電話番号：0296(33)2727 FAX：0296(33)8245

交通：JR水戸線結城駅下車徒歩20分

ホームページ：http://www.asahi-net.or.jp/~vd3s-tsk/

Email vd3s-tsk@asahi-net.or.jp

【学校の特徴】

本校は、茨城県の県西部に位置する結城市にあり、創立130年を迎える歴史と伝統が息づく学校である。

平成3年以来、市内各小中学校への外国人児童生徒の編入学が年を追うごとに増加した。そのため本校は受入体制の整備と日本語指導の充実、そして日本人の児童を含めた国際理解教育の推進に努めてきた。

センター校への通級児童生徒数（平成14年9月1日現在）

学 校 名	日本語指導が必要な外国人児童生徒数	母 国 語 別 人 数
センタ-校 結城小学校	11名	ポルトガル語7名 ス페인語3名 ペルシャ語1名
城南小学校	1名	ポルトガル語1名
結城西小学校	10名	ポルトガル語9名 ス페인語1名

城西小学校	1名	タイ語 1名
絹川小学校	5名	ポルトガル語 5名
結城中学校	8名	ポルトガル語 7名 タミール語 1名
結城東中学校	10名	ポルトガル語 6名 スペイン語 1名 ペルシア 1名 セルビア 2名
結城南中学校	1名	ポルトガル語 1名

センター校での指導時数及び指導内容

ア 指導時数：外国人児童生徒に対する週平均の指導時数・・・週3時間（個人差に応じて時間数は異なる）

イ 指導内容

日本語指導

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ指導・・・日本語教室に取り出して、2～3人の能力別指導</li> <li>・個別指導・・・日本語教室に取り出して、マンツーマン指導</li> <li>・ティームティーチング・・・在籍学級で個別指導</li> </ul> |
|---|

適応指導

- ・毎月全外国人児童の生活状況調査を行うとともに、機会あるごとに学級担任と話し合いをもち、問題点の把握だけでなく良い点を見つけて児童理解につとめている。
- ・日本語学習を進めながらの心のケア

母国語の保持指導

- ・週1時間の外国人児童生徒全員が集まり活動する時間の設定
- ・外国人ボランティアの活用

センター校を中心とする帰国・外国人児童生徒指導協力体制について

本地域では、外国人児童生徒の家庭の事情や交通手段の問題から通級による指導は難しい。そのため拠点校方式を採用している。センター校加配教員が、センター校に在籍する外国人児童生徒に対する指導をするとともに、市内各学校に在籍する外国人児童生徒のために、週5日の午前中、在籍校を訪問し、個別に日本語指導及び教科の補充指導を実施するなど派遣指導の体制を採っている。

### 3 帰国・外国人児童生徒と共に進める教育国際化推進体制の整備

教育の国際化推進連絡協議会の概要

【構成員】

運営組織名	活動内容	構成
役員	会務を統括する。	会長（教育長） 1名 副会長（校長会長） 1名 （センター棟長） 1名 幹事（各小中学校長） 10名 事務局 6名
教育の国際化協議会 （総会）	・推進地域指定事業の趣旨、方針、事業計画等の審議を通して、地域社会・学校等の共通理解を深める。	役員 19名 センター校加配教員 2名 在籍校加配教員 3名 国際理解教育担当教員 9名 母国語カウンセラー代表 1名 ボランティア代表 1名 結城ローラークラブ代表 1名 国際交流友好協会代表 1名
運営委員会	・事業計画等を中心に、その企画立案に当たると共に各部会の連絡をする。	校長会長 1名 センター校校長 1名 事務局 6名
事務局 不就学児童生徒対策部	・連絡協議会、運営委員会の事務に当たる。	教育次長 1名 指導課職員 3名

	・不就学児童生徒の実態調査及び対応に当たる。	センター校加配教員代表 1名 日本語指導協力者 1名 日本語指導相談員 1名 母国語カウンセラー代表 1名
適応指導教育部	・心のケアを中心に、母国語話者によるカウンセリングを行う。 ・日本の生活習慣や学校生活への適応プログラムを作成する。	指導主事 1名 センター校加配教員 2名 在籍校加配教員 3名 日本語指導協力者 1名 母国語カウンセラー 3名
日本語指導教育部	・指導カリキュラムや教材教具の作成をする。 ・指導教材の開発をする。	指導主事 1名 センター校加配教員 2名 在籍校加配教員 3名 日本語指導協力者 1名 ボランティア代表 1名
指導資料開発部	・受け入れマニュアル、文例集の開発・作成をする。	指導主事 1名 センター校加配教員 2名 在籍校加配教員 3名 日本語指導協力者 1名 ボランティア代表 1名
国際理解教育部	・自国の文化や伝統を尊重し、異文化に対する理解を深める	指導主事 1名 センター校加配教員 2名 国際理解教育担当教員 9名 在籍校加配教員 3名

【協議会設置の効果】

事例を通しての研究協議により、編入当初の不適応からくるトラブルの解消のための支援の在り方や進路で悩んでいる生徒と保護者への適切な助言・支援方法についての情報の共有化

外国人児童生徒の実態に応じたカリキュラムの作成と教材開発

受入体制及び日本語指導体制の整備

人権意識の高揚と地域内全体における国際理解教育の充実

不就学児童生徒の実態と協力体制整備の必要性についての理解

加配教員の活用状況

午前 - 加配の1名は、外国人児童生徒が在籍している学校（日本語指導の必要な児童生徒）に出向いて日本語指導や相談活動を行う。

派遣は各学校週1回（午前中：3校時まで）を原則とする。

残りの加配教師（1名）は、自校にて外国人児童生徒を対象に日本語指導及びセンター校としての業務にあたる。

午後 - 加配教員（2名）で、自校の外国人児童生徒教育にあたる。

教育相談員の派遣状況及びその効果

ア 母国語カウンセラーの派遣とその効果

配置 センター校に配置：要請により市内の小中学校に派遣

カウンセラーの派遣：ポルトガル語（2名） スペイン語（1名）

【効果】

母国語カウンセラーによる教育相談体制の整備により、外国人児童生徒の生活面・学習面、中学校における進学・就職相談を中心とした進路相談の充実が図られてきている。中でも、不登校傾向のある外国人児童生徒への対応が適切に行われるようになり、その数も減少している。

保護者とのコミュニケーションの図り方について、その留意点の共通理解が図られた。特に母国語カウンセラーや翻訳カウンセラーによる教育相談や家庭訪問によって、保護者とのコミュニケーションも深まり、日本の学校教育全体に対する理解と関心が高まった。

地域人材の活用状況

ア 地域のボランティアとの協力とその効果

日本文化ボランティア ・ ・ ・ ・ ・ 市民ボランティア団体

「習字・折紙・遊び等」

（のびる会、結城おはなし会等）

個人ボランティア

#### 4 平成14年度の具体的な取組内容とその成果等について 研究主題

国際化時代に共に生き、共に学ぶ児童生徒の育成

##### 【研究のねらい】

- ・ 外国人児童生徒一人一人の実態に応じた適切な支援・指導を目指し、地域全体としての受入体制及び研修体制の充実を図る。
- ・ 異文化に対する興味・関心を高めたり、共に生きるということを基盤として、地域内全体における国際理解教育充実のための実践的研究をする。

##### 研究主題に関連した活動及びその成果

- ・ 外国人児童生徒一人一人の実態に応じた学校への積極的な受入に関する共同研究の推進

##### 【成果】

一人一人の実態に応じて、適切な指導が行われたので、意欲的に学習に取り組むようになった。特に、日本語の能力別の教材や内容を工夫した個別指導により全く会話できない児童生徒も短期間で日常会話ができるようになった。

「加配教員連絡会」の開催により日本語及び教科の補充指導について具体的な事例をとおしての授業研究が実施でき、1単位時間の効率的な展開や指導教材の活用の仕方等、学習指導法の改善が図られた。

外国人児童生徒の保護者対象のアンケート実施により、外国人児童生徒の保護者の学校への要望や教育に対する意識などの把握に役立った。

##### 推進地域としての取組及び成果

###### 近隣の高等学校との連携

結城市小中高校連絡協議会（各学校校長が参加）による連携・協力体制の一環として、外国人児童生徒の進学先の高等学校への日本語指導カリキュラムや教材等の提供や担当者との情報交換の場の設定した。今年度入試特例枠で入学した1年生の日本語指導及び適応指導等について、中学校担当者と高校担当者との情報交換や共通教材の使用等により、より円滑で継続性のある適応指導につながった。

###### 教育相談（心のケア、進路指導等）体制の整備

母国語カウンセラーによる教育相談体制の整備により、外国人児童生徒の生活面・学習面、中学校における進学・就職相談を中心とした進路相談の充実が図られてきている。中でも、不登校傾向をもつ外国人児童生徒への対応が適切に行われるようになりその数も減少した。また、保護者とのコミュニケーションの図り方について、その留意点の共通理解が図られた。

###### 不登校・不就学外国人児童生徒への対応

実態の把握（関係機関や幼稚園・保育所との連携をもとに）のため在籍外国人児童生徒の保護者対象のアンケート実施により、外国人児童生徒の保護者の学校への要望や教育に対する意識などの把握と不就学児童生徒がいる家庭の実態把握を進め、調査結果をもとに、該当児の保護者との連絡体制の整備に向けての準備が進められた。

##### 帰国・外国人児童生徒とその他の児童生徒の相互啓発の観点による取組及びその成果

- ・ 本地域では、平成3年に2名の外国人児童生徒を初めて受け入れて以来、毎年外国人児童生徒を受け入れてきた。日本人児童生徒にとってそばに外国人児童生徒がいることは何の違和感もない。学習や遊びなどの日常生活の中で、子ども同士自然に触れ合い互いの文化や習慣を理解し合いながら、相手の立場を尊重するなどの思いやりの心情も育っている。外国人児童生徒と日本人児童生徒双方へよい影響が随所に見られるようになってきた。

##### 地域と連携した活動（民間企業、地域の人材活用状況等）及びその成果

- ・ 地域のボランティアとのネットワークづくりを目指し、市国際交流協会・結城市ロータリークラブとの連携による地域内全体における国際交流の場を設定したことにより外国人児童生徒及び保護者の地域の国際交流事業へ参加により、外国人児童生徒への理解を深めるよい機会となるとともに、地域住民との交流のきっかけとなった。

## 連携した団体等の概要

## ・結城ロータリークラブ

会員数 51名 会長 滝沢恒夫 事務局 常陽銀行結城支店内

## ・結城国際交流友好協会

会員数 120名(36団体 個人60名)

会長 木村邦雄 事務局 結城市役所企画政策課内

## その他特筆すべき平成14年度の成果と課題

市単独事業「日本語指導協力者派遣事業」による日本語指導協力者の派遣

外国人児童生徒のよき相談相手となるとともに、学校全体の外国人児童生徒教育に対する意識が深まるとともに、加配教師や担当者のアドバイザー的な役割を果たし効果を上げている。

## 平成15年度の課題及び事業計画概要

## 【課題】

- 不就学，不登校外国人児童生徒への対応
- 進路指導の問題
- 母国語話者によるカウンセリング体制の充実
- 母国語の保持指導

## 【事業計画概要】

1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市関係部局との連絡会（教育次長・事務局）</li> <li>・第1回結城市教育の国際化推進連絡協議会</li> <li>・外国人児童生徒教育担当者研修会</li> <li>・担当教員連絡会（第1回・第2回）</li> <li>・外国人児童生徒保護者に対するアンケート調査による実態調査（質問紙による調査・分析）</li> <li>・就学案内・学校紹介リーフレット配布（市民課窓口で年間を通じて）</li> <li>・外国人児童生徒保護者会（各学校及び中学校区単位）</li> <li>・市内の幼稚園・保育所等の連携・協力による就学対象児の在籍調査の実施</li> </ul>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員連絡会（第3回・4回）</li> <li>・外部講師を招聘しての研修会の実施</li> <li>・先進校への視察研修，講演会への参加</li> <li>・授業研修会（国際理解・外国人児童生徒教育担当者）</li> <li>・日本語指導年間計画訂正版作成</li> <li>・外国人児童生徒保護者会（市単位）</li> </ul>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当教員連絡会（第5回・6回）</li> <li>・授業研修会（国際理解・外国人児童生徒教育担当者）</li> <li>・第2回結城市教育の国際化推進連絡協議会</li> <li>・報告書の作成</li> </ul>